

平成30年度 日本学生支援機構【大学院修士・博士前期・専門職学位課程】第一種奨学金 「特に優れた業績による返還免除」の申請について(案内)

大学院修士・博士前期・専門職学位課程で「第一種奨学金」の貸与を受け、その貸与期間中に挙げた専攻分野に関する業績について、日本学生支援機構から「特に優れた業績を挙げた」と認定をされると、奨学金の全額または半額の返還が免除される制度です。貸与の終了年度に在籍していた課程において挙げた業績により申請をします。

平成30年4月～平成31年3月の期間内に奨学金の貸与が終了（辞退・退学による終了も含む）する人のうち、『貸与終了手続き書類』を提出期限までに大学に不備なく提出した人のみが申請できます。

本人からの申請に基づき、三重大学「学内選考委員会」において業績を審査して推薦候補者を選考し、日本学生支援機構に推薦します。申請を希望する人は、本案内および申請用紙に記載の【記入上の注意】をよく読み、受付期間内にチェックシートを含め、必要書類を不備なく揃えて提出してください。

記

1、申請受付

(受付期間) 平成31年3月11日(月)～3月25日(月) 期限厳守
9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

(受付場所) 学務部学生支援チーム ①番窓口 (総合研究棟Ⅱ 1階)
059-231-9061

※提出時に、学生証と朱肉を使って押す印鑑を持参してください。

(提出書類 下記の5点)

- ①. 業績優秀者返還免除申請書(様式1-1 表と裏) (両面印刷で1枚)
- ②. 業績一覧表(様式1-2 表と裏) (両面印刷で1枚)
- ③. 指導教員の推薦理由(様式1-3) (1枚)
- ④. 業績を証明する資料 2セット
- ⑤. チェックシート(1枚)

2、資料作成要領

①業績優秀者返還免除申請書(様式1-1 表と裏)

◇パソコンで作成することができますが、本人氏名は【自署】、押印が必要です。

【表面】◇「現住所」欄は大学に届け出ている住所を、都道府県名から記入する。

◇「大学院における研究課題等」欄への記入内容が、あなたの〔専攻分野〕を表します。どれほど優秀な業績でも、〔専攻分野〕と関連のない業績は評価対象となりません。

◇「教育研究活動等の業績」欄には、業績の該当する評価項目について○を付す。(自分が所属する研究科・課程の『業績評価基準』を確認し、評価対象となる(点数の付く)業績の中で、該当するものを選ぶこと。評価対象外の業績は選ばないでください。)

【裏面】◇「特に優れた業績の要旨」欄へは各業績を【要旨】として記入する。

該当する『業績評価基準』の評価項目を明記し、業績一件ごとに「1番」からの 通し番号 を付けて箇条書きする。

②業績一覧表(様式1-2 表と裏)

◇パソコンで作成することができますが、氏名は【自署】で記入してください。

◇《記入方法》の例を見ながら、各評価項目に該当する資料の著者名、論文名等を明記し、上記①の裏面で付けた 通し番号 を 資料番号 の欄に記載する。

③指導教員の推薦理由（様式 1-3）

- ◇ パソコンで作成することができますが、教員氏名は【自署】、押印が必要です。
- ◇ 「奨学生番号、学籍番号、氏名、研究科名・専攻名」を自分で記入してから、指導教員に作成を依頼してください。
- ◇ この用紙では「業績の証明」はできません。業績証明資料として「指導教員の推薦書」が必要な場合は、別途、業績の「推薦書」（様式は任意）の作成を依頼してください。

④業績を証明する資料 2セット

- ◇ 様式 1-1 裏「特に優れた業績の要旨」にあげた業績には、すべて証明資料が必要です。
- ◇ 「証明資料」は、その業績を『誰が・いつ(年月)・どこで(何で)』挙げたかを証明できないといけません。業績の内容以外に、「発表者名、発表・掲載・受理等の年月、学会誌名、研究集会の大会名、補助業務への従事期間と専攻分野との関連性、推薦者の署名・押印」など、業績が申請条件を満たしていることを証明できる一連の書類を揃えてください。（*手持ちの論文に日付が掲載されていない場合、メールなど受理日等が証明できるものを添付してください。）
- ◇ 著書・論文や賞状等は原本ではなく、「コピー」で提出してください。指導教員や研究科の発行する証明書、および学外の団体等に発行してもらった証明書は「原本」を提出してください。
- ◇ 業績ごとに「A4サイズ」で【**両面コピー**】してください。
サイズが大きく、縮小すると判読が困難となるものは、原寸で片面コピーとし、見やすい方法でA4サイズ（左綴じ）に折ってください。
- ◇ 業績ごとに資料の1ページ目【**右上角**】に「特に優れた業績の要旨」欄で記入した【**通し番号**】を付け、業績と証明資料の関連を明確にしてください。
- ◇ 免除申請書は**A4縦**で**左上**を止めて機構へ提出します。資料の向きや、通し番号の位置（=右上）を整え、印象の良い資料を用意してください。特に論文や研究発表の場合、自分の氏名等の掲載部分にラインマーカー等で下線を引き、わかりやすいようにしてください。
- ◇ 書類は**クリップ**（ゼムクリップ、ダブルクリップ）で止めてください。ホッチキスは無効です。（詳しくはチェックシートの図を見てください。）

⑤チェックシート 自己チェックを行い、レ点を付けてください。

3、申請上の注意点

- (1) 業績評価基準や証明書類等について不明な場合は、所属する研究科の学務事務室へ問い合わせてください。（学生支援チーム奨学金担当は書類を受け取った後、各研究科に書類一式を送付します。審査・選考は各研究科にて行います。）
- (2) 学会参加等によりやむを得ず受付期間内に申請ができない場合は、事前に奨学金担当に相談してください。事前に相談がない場合は、いかなる理由があっても受付期間後の受付は一切できません。
- (3) 卒業後に「現住所」が変更となった場合は、平成31年4月以降にスカラネットパーソナルか、『返還のてびき』に記載の「転居・改氏名・勤務先(変更)届」で機構に住所変更を届け出てください。
- (4) 返還免除の認定結果が判明する6月中旬までに、全額繰上または一部繰上返還をしないでください。繰上返還をした場合、免除決定が取り消される場合があります。

4、審査の結果連絡

機構へ推薦できなかった場合

平成31年5月初旬頃に学内選考の結果通知を、チェックシートに記入した「卒業後の連絡先」に大学から郵送します。

三重大学から機構へ推薦した場合

大学からは、学内選考の結果は通知しません。

平成31年6月中旬～下旬に、日本学生支援機構よりへ審査結果通知が郵送されます。

5、推薦予定人数

修士・博士前期課程 38名

〈参考〉対象者数
M 127人